

## 2. 東京大会に至るさまざまな検討と準備体制

### 大会開催宣言

わが国は1929年の加盟以来、日本図書館協会がその窓口となつて、年次大会への代表派遣その他必要な関係を維持してきたが、1970年代になってIFLA本部その他から年次大会を日本で開催してほしい旨の要請が再三にわたってなされた。日本の図書館界としては、諸般の事情から時期尚早として受諾の回答をひきのばしてきたが、近年日本の国際的地位の向上にともない、図書館界も国際社会における日本の使命を果たし、その大きな期待にこたえるべきことを痛感し、1980年のマニラ大会において、日本図書館協会理事長から1986年の第52回大会を日本で開催する旨の発表を行った。

### IFLA日本委員会の結成

マニラ大会の頃までの日本におけるIFLAの会員は協会会員としては日本図書館協会のみ、機関会員としては国立国会図書館等5つにすぎなかった。しかし、IFLA東京大会を成功させるにはもっと会員数を増やすとともに、東京大会の準備委員会の母体となり、かつ日本の図書館界とIFLAとの永続的な接点となるような組織「IFLA日本委員会」の結成が強く望まれた。結成の動きは1981年7月にはじまり、翌1982年7月にIFLA日本委員会規約が制定され、同委員会が発足した。委員会のメンバーは日本のIFLA加盟団体および機関に限られているが、現在協会会員7団体、機関会員8機関の合計15となっている。

### IFLA東京大会組織委員会の結成と活動

1982年9月IFLA日本委員会のよびかけで、IFLA日本大会準備打合せ会が開かれ、同年12月の会合で開催地は東京と決定、打合せ会はIFLA東京大会準備委員会と改称された。同委員会はその後5回の会合を重ねて、組織委員会結成のための規約、開催趣意書の作成などを行い、1983年7月IFLA東京大会組織委員会が日本図書館協会の永井道雄会長を委員長として発足した。

### IFLA東京大会テーマ決まる(1984年4月)

### メインテーマ：21世紀への図書館

The main theme:  
NEW HORIZONS OF  
LIBRARIANSHIP TOWARDS  
THE 21ST CENTURY

### サブテーマ

#### 1. ニューメディアの影響

##### Impact of new media

ニューメディアの開発は学術雑誌、索引誌、抄録誌の形態を変えた。電子形態の雑誌やレファレンスブックが増加して来よう。印刷メディアの種類と形態が変わるであろう。出版、情報流通もこのような変化の影響を受けることになる。図書館もこれらの変化に対する対応を考えねばならない。

#### 2. 図書館サービスの变化

##### Changes in library services

ニューメディアの収集及び整理法の研究がなされると共に、MARCの普及によりカード目録を持たない図書館が一般化しよう。オンライン情報検索サービスの増加による影響も考慮に入れる必要がある。CATVなど新しい視聴覚メディアの普及により子供ばかりでなく成人の活字離れにも拍車がかかることになりかねないので読書を促進する為の図書館の役割を強化する必要がある。更に生涯教育における図書館の責務も考慮されなければならない。

#### 3. 図書館利用者の变化

##### Changes in library users

各種データ・ベースが端末機で利用者と直接結ばれるようになれば誰が図書館の利用者になるのだろうか？何を求めて利用者は図書館へ来るのだろうか？図書館はどんな使われ方をするのだろうか？利用者のためにどのような図書館利用のプログラムを用意する必要があるのか？

#### 4. 図書館管理・運営の变化

##### Changes in library management

新しいメディア、図書館サービスの变化、利用者の要求の多様化に伴って図書館は予算の配分、人事、組織等において適切な管理・運営がなされなければならない。図書館サービス・全国計画、図書館利用の有料サービスの問題等も検討される必要がある。

#### 5. 図書館員、情報専門職の教育と訓練

##### Education and training of librarians and information specialists

図書館の新しい役割に対処するために、図書館員や情報専門職の教育と訓練の質、量、カリキュラム、教育のレベル等について適切な計画が立案されるべきである。更に現職者の再教育の計画も考える必要がある。

#### 6. 情報利用における国際協力

##### International accessibility and cooperation in on-line information services

テレ・コミュニケーションの発達によりオンラインによる情報検索の国際的利用が促進されるので、標準化、互換性、著作権、料金等の問題を国際レベルにおいて解決しなければならない。

#### 7. 印刷・非印刷メディアの保護と保存

##### Conservation and preservation of print and non-print media

各国は印刷・非印刷メディア(写本・フィルム等)による独自の文化遺産を持つが、今日それらは劣化の一途をたどっている。そのような印刷・非印刷メディアが未来への遺産として保護、保存される方策が講じられなければならない。

#### 8. 先進国と発展途上国との関係

##### Closer cooperation between developed and developing countries

新しい技術の開発が先進国と発展途上国との間の格差を増大しないように、知識、経験、技術及び人物の交流を促進していく必要がある。その際、各国固有の文化・国民性は尊重されるべきである。

#### 9. 各国における図書館サービス発展の条件

##### Requirements for the development of library services in each country

図書館サービスの発展、出版活動の振興、文盲の撲滅等に対する政策が国家的な見地から検討されなければならない。

#### 10. 新しい図書館の理念

##### New philosophy of librarianship

新しい時代における図書館サービスの变化に対応して各種図書館の理念や目的を改めて構想する必要がある。

### 大会概要

#### 1. 大会の名称

和文名：第52回国際図書館連盟東京大会

英文名：The 52nd IFLA General Conference—Tokyo

#### 2. 主催機関等の名称

##### (1) 主催

社団法人日本図書館協会

第52回国際図書館連盟東京大会組織委員会

IFLA日本委員会

##### (2) 後援

文部省、外務省、国立国会図書館、東京都

##### (3) 協力団体

A. 図書館関係団体

\*全国公共図書館協議会、\*全国学校図書館協議会、国立大学図書館協議会、公立大学図書館協議会、\*私立大学図書館協議会、公立短期大学図書館協議会、\*私立短期大学図書館協議会、\*専門図書館協議会、(社)日本ドクメンテーション協会、\*日本医学図書館協会、日本薬学図書館協議会、日本農学図書館協議会、音楽図書館協議会、法律図書館連絡会、日本図書館学会、日本図書館研究会、図書館問題研究会、児童図書館研究会、大学図書館問題研究会、日本索引家協会

(社)日本図書館協会及び\*印はIFLA加盟協会会員)

#### B. IFLA加盟機関会員

国立国会図書館、図書館情報大学、慶応義塾大学図書館・情報学科、京都産業大学図書館、京都外国語大学図書館、金沢工業大学ライブラリー・センター、野村総合研究所情報管理室、名古屋商科大学中央情報センター

#### 3. 大会の母体機関

和文名：国際図書館連盟

英文名：International Federation of Library

Associations and Institutions(IFLA)

所在地：c/o Koninklijke Bibliotheek, Prins Willem

Alexanderhof 5, The Hague,

Netherlands

#### 4. 開催時期

昭和61年(1986年)8月24日(日)～8月29日(金)6日間

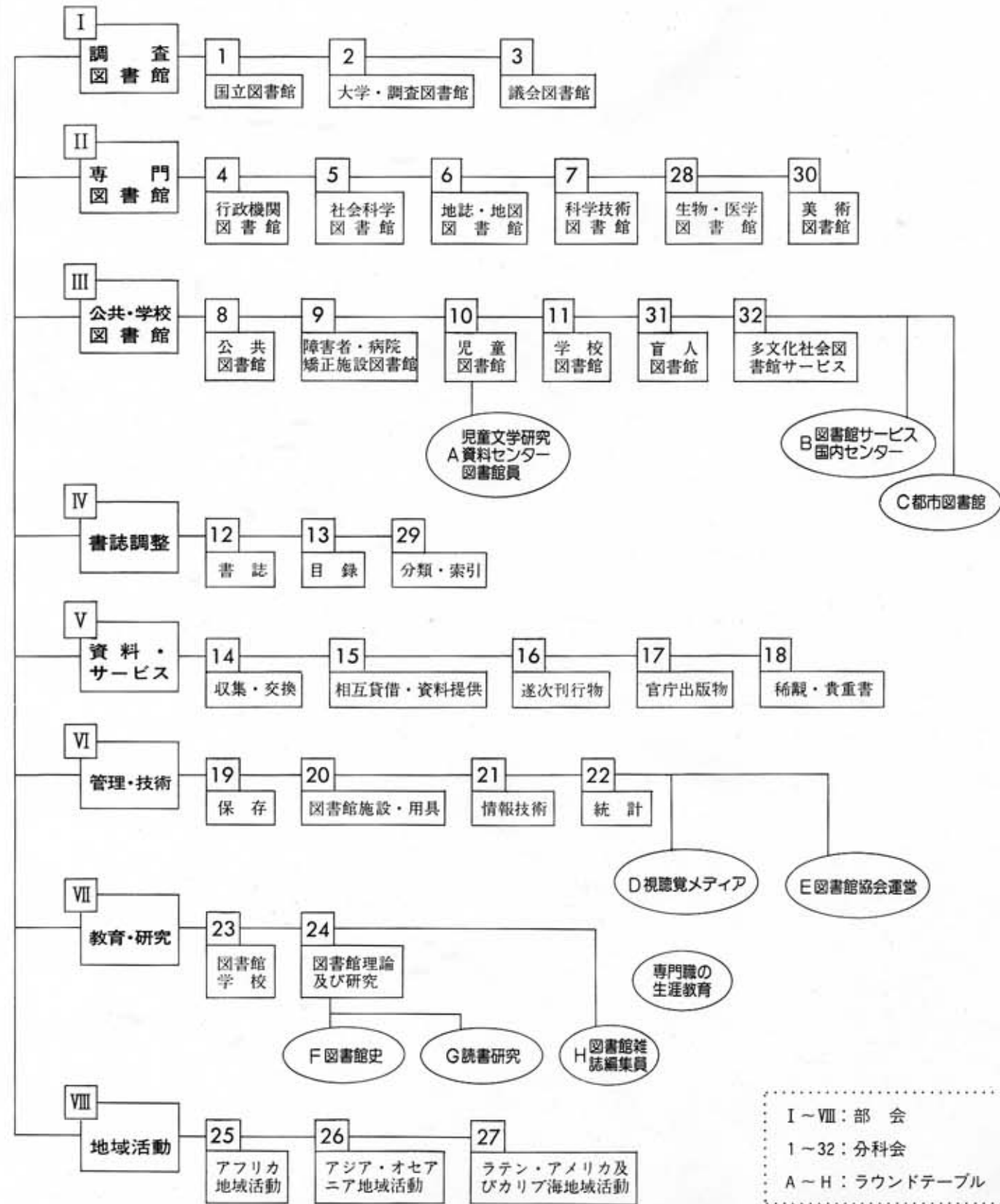
#### 5. 会場

国立劇場・青山学院大学および日本青年館

### 大会日程

	午前	午後	夕刻
8月18日(月)～23日(土)	プレ・セッション・セミナー		
21日(木)～22日(金)	プレ・コンファレンス・セミナー		
21日(木)～23日(土)	盲人図書館専門家会議		
23日(日)	理事会	理事会 部会役員会	IFLA 役員レセプション
24日(月)	分科会・役員会	展示開会 IFLAオリエンテーション	展示レセプション
25日(火)	部会	開会式 全体会議	歓迎レセプション
26日(水)	分科会 ラウンドテーブル	分科会 ラウンドテーブル	
27日(木)	国立図書館長会議		日本の夕べ (芸能鑑賞)
	分科会 ラウンドテーブル	分科会 ラウンドテーブル	
28日(金)	部会、分科会役員会		
	プロフェッショナル・ツアー		
29日(土)	公開討論会	閉会式	

IFLA部会・分科会・ラウンドテーブル構成図



## 4. 登録者数と参加国

### (1) 登録者数 (2,252名)

一般登録		同伴者登録		一日登録	
海外登録	54ヶ国 614名	海外	13ヶ国 66名	海外	9ヶ国 17名
国内登録	1,092名	国内	15名	国内	448名
合計	1,706名	合計	81名	合計	465名

### (2) 参加国 (55ヶ国)

■Asia & Oceania	Australia	Indonesia	New Zealand	Singapore
	Bangladesh	Japan	Papua New Guinea	Sri Lanka
	China	Korea	Pakistan	Thailand
	India	Malaysia	Philippines	Western Samoa
■Europe	Austria	France	Norway	U. K.
	Belgium	Germany, Fed. Rep.	Poland	U. S. S. R.
	Bulgaria	Greece	Portugal	Yugoslavia
	DDR	Hungary	Spain	
	Denmark	Italy	Sweden	
	Finland	Netherlands	Switzerland	
■America	Canada	Haiti	Trinidad and Tobago	
	Chile	Jamaica	U. S. A.	
	Cuba	Puerto Rico	Venezuela	
■Africa	Kenya	Nigeria	Sierra Leone	
	Morocco	Senegal	Zimbabwe	
■Middle East	Israel	Saudi Arabia	Turkey	

# 9. 関係委員名簿

**組織委員会**  
 委員長 永井 道雄  
 (日本図書館協会会長)  
 副委員長 前田 陽一  
 (全国公共図書館協議会会長)  
 酒井 梯  
 (全国学校図書館協議会会長)  
 高橋徳太郎  
 (国立国会図書館副館長)  
 委員 藤川 正信  
 浜田 敏郎  
 井川 博  
 岩塚 敏生  
 鍛冶 健司  
 金子 精次  
 岡村謙二郎  
 佐野 友彦  
 沢本 孝久  
 鈴木 英二  
 高田 健三  
 高野 義郎  
 戸塚 七郎  
 山本 信忠  
 横田 健  
 由比 凌

**諮問委員**  
 齊藤 尚夫  
 (文部省社会教育局長)  
 中平 立  
 (外務省国際連合局長)

**顧問**  
 高石 邦男  
 (文部省事務次官)  
 柳谷 謙介  
 (外務省事務次官)  
 荒尾 正浩  
 (国立国会図書館館長)  
 横田 政次  
 (東京都副知事)  
 細田 吉蔵  
 (図書館員連盟会長)  
 犬丸 直  
 (前国立劇場理事長)  
 水上 忠  
 (都道府県教育長協議会会長)  
 有光 次郎  
 (社会教育団体振興協議会会長)  
 町田 貞  
 (図書館情報大学学長)  
 松田 智雄  
 (前図書館情報大学学長)  
 下山 瑛二  
 (公立大学協会会長)  
 石川 忠雄  
 (日本私立大学連盟会長)

佐藤 朔  
 (前日本私学振興財団理事長)  
 酒向 誠  
 (日本私立短期大学協会顧問)  
 中村 幸雄  
 (社)情報科学技術協会会長  
 五島 昇  
 (日本商工会議所会頭)  
 花村仁八郎  
 (経済団体連合会副会長)  
 服部 敏幸  
 (日本書籍出版協会理事長)  
 千葉 源蔵  
 (日本雑誌協会理事長)  
 角屋 正隆  
 (日本出版取次協会会長)  
 松信 泰輔  
 (日本書店組合連合会会長)  
 飯泉 新吾  
 (洋書輸入協会会長)

**募金委員会**  
 委員長 服部 敏幸  
 副委員長 北島 義俊  
 " 松原 治

**実行委員会**  
 委員長 高橋徳太郎  
 副委員長 浜田 敏郎  
 委員 藤川 正信  
 深川 仁寛  
 細野 公男  
 岩塚 敏生  
 金子 精次  
 今 まど子  
 古賀 節子  
 栗原 均  
 宮川 隆泰  
 延原富士男  
 岡村謙二郎  
 桜井 宣隆  
 佐野 友彦  
 佐々木敏雄  
 末吉 哲郎  
 杉山 裕  
 高田 健三  
 高野 義郎  
 田辺 広  
 田中 梓  
 戸塚 七郎  
 上野 博

**プログラム委員会**  
 委員長 今 まど子  
 委員 深川 仁寛  
 細野 公男  
 古賀 節子  
 桜井 宣隆  
 佐々木敏雄

杉山 裕  
 田辺 広  
 田中 梓  
 上野 博

**I. 調査図書館部会**  
 (国立・議会図書館)  
 \*上野 博  
 若松 邦保

**(大学図書館)**  
 \*杉山 裕  
 後藤 達  
 平井 佑二  
 金井 孝  
 加藤誠之助  
 遊川 雅俊  
 矢沢 西二

**II. 専門図書館部会**  
 \*佐々木敏雄  
 松下 均  
 松沢 隆夫  
 牟田 計作  
 奥宮実枝子  
 大久保逸雄  
 曾根由紀子  
 菅 利信  
 裏田 和夫  
 若林 芳房  
 吉本 瑞応

**III. 公共・学校図書館部会**  
 (公共図書館)  
 \*深川 仁寛  
 赤星 隆子  
 菊池 佑  
 中根 憲一  
 西尾 正二  
 篠崎セウコ  
 友野 玲子  
 上野 武彦  
 矢野 有  
 渡辺 修

**(学校図書館)**  
 \*古賀 節子  
 今村 秀夫  
 笠原 良郎  
 長倉美恵子  
 高橋 元夫  
 筒井 福子

**IV. 書誌調整部会**  
 \*田辺 広  
 樋川 清司  
 石山 洋  
 内藤 衛亮  
 鷹取 桐  
 高鷲 忠美  
 塚越つた子

上田 修一

**V. 資料・サービス部会**  
 \*田中 梓  
 安部 益巳  
 後藤 暢  
 京藤 松子  
 東ヶ崎民代

**VI. 管理・技術部会**  
 \*細野 公男  
 長田 洋  
 斎藤 孝  
 田中 功  
 山崎 久道  
 安江 明夫

**VII. 教育・研究部会**  
 \*桜井 宣隆  
 藤野 幸雄  
 松村多美子  
 佐藤 隆司  
 高山 正也  
 渡辺 信一

**VIII. 地域活動部会**  
 \*今 まど子  
 金子 量重  
 小坂 充雄  
 中村 弘光  
 (\*部会長)

**ペーパーハンドリング小委員会**  
 委員長 佐藤 強  
 委員 後藤 暢  
 一ノ渡勝彦  
 金箱 秀俊  
 新田 満夫  
 野津 公彦  
 小高 孝彦  
 白岩 一彦  
 柳 与志夫

**広報委員会**  
 委員長 田中 梓  
 委員 千代 正明  
 石塚 英男  
 今 まど子  
 京藤 松子  
 真中 祐一  
 上野 博  
 梅原 實

**Librarianship in Japan 編集委員会**  
 委員長 田中 梓  
 委員 千代 正明  
 細野 公男  
 石塚 英男  
 加藤 章子  
 古賀 節子  
 今 まど子

京藤 松子  
 真中 佑一  
 高山 正也  
 田辺 広  
 上野 博  
 梅原 實

**会場委員会**  
 委員長 佐野 友彦  
 委員 一寸木宋一  
 深川 仁寛  
 木高信次郎  
 古賀 節子  
 松沢 隆夫  
 宮嶋 敬久

**宿泊・登録委員会**  
 委員長 深川 仁寛  
 委員 梅原 實

**展示委員会**  
 委員長 末吉 哲郎  
 委員 藤田 正範  
 深田 良治  
 石坂 正男  
 石塚 英男  
 金子 量重  
 鬼頭 当子  
 古賀 節子  
 新田 満夫  
 高山 正也  
 遠矢 勝昭

**行事・接遇委員会**  
 委員長 浜田 敏郎  
 委員 青木 元二  
 糸賀 雅児  
 上法 茂  
 桂 啓社  
 三輪真木子  
 中森 強  
 戸田 光昭

**プレ・セッション セミナー委員会**  
 委員長 宮川 隆泰  
 委員 諸谷小四郎  
 元田 時男  
 野中 耕一  
 佐々木敏雄  
 菅 利信  
 鈴木 恒彦  
 武井 淳

**総務委員会**  
 委員長 栗原 均  
 委員 浜田 敏郎  
 石塚 英男  
 国分 信  
 今 まど子  
 小川 俊彦

佐野 友彦  
 佐藤 強  
 上野 博  
 梅原 實

**事務局**  
 事務局長 栗原 均  
 事務局員 小川 俊彦  
 太田 智久  
 吉清 ノリ

**旧委員名簿**  
 組織委員 陶山 国見  
 (副委員長)  
 長野 裕  
 (副委員長)  
 宮野 禮一  
 (副委員長)  
 鳴井 和也  
 遠山 一行  
 西川 漢八  
 平田 光徳  
 藤田 忠  
 町田 貞  
 三石 辰雄  
 三塚 俊武  
 森 清  
 山崎 賢一

諮問委員 山田 中正

実行委員 伊東 總吉  
 小坂 昭三  
 田辺由太郎  
 広瀬 智生

専門委員 有岡 章  
 河井 弘志  
 鈴木 長年  
 高村 延雄  
 竹内 紀吉  
 藤田 忠雄  
 堀 侑  
 箕輪 武

**その他委託・協力関係企業と団体**  
 ㈱国際会議事務局  
 ㈱サイマル・インターナショナル  
 ㈱ジャパン サイエンス・プランニング  
 東京楽所  
 大日本印刷㈱ 青学会館  
 ㈱日本交通公社 西尾公認会計事務所  
 青山学院大学  
 金沢工業大学  
 日本点字図書館  
 日本大学会館